

10/12
去族

南スーダンで民間人21人死亡

南スーダン政府は10日、首都ジュバと南部イエイとを結ぶ幹線道路で民間人を乗せた車両が8日に襲撃され、少なくとも21人が死亡、二十数人が負傷したと発表しました。ロイター通信

信などが伝えました。同国ではキール大統領を支持する政府軍とマシヤール前副大統領（現在スーダに滞在中）派の武装組織が戦闘を続けています。襲撃について、地元当局

者はマシヤール前副大統領派によるものと述べました。別の報道では、殺害されたのは大統領と同じ民族のデインカ人で、民族間の対立激化が懸念されます。マシヤール派の軍報道官

は、政府軍の施設しか標的にしておらず、「民間人への危害や殺害の意図はない」と、事件への関与を否定しました。

スーダン・トリビュン紙によると、キール大統領は9日、襲撃のあったイエイ川州（旧中央エクアトリア州）での治安悪化を受け、現地に調査団を派遣。地元政府は平和的な対話で紛争の解決を図りたいとしています。